

# WHO ファクトシート

## 保健医療廃棄物の管理

Health-care waste management

ファクトシート No. 281

2011 年 10 月

### 重要な事実

- ・状況により保健医療廃棄物は焼却され、結果ダイオキシン、フランその他の大気汚染物質が排出物として放出されることがある。
- ・ダイオキシンやフランへの曝露は、免疫システムへの障害や神経系、内分泌系及び生殖機能の発達への障害を引き起こす可能性がある。
- ・WHO はダイオキシン、フラン及びポリ塩化ビフェニルについて月当たりの暫定的許容摂取基準を設けている。
- ・保健医療廃棄物（たとえば汚染されたシリンジや針）の不安全な廃棄は、公衆衛生上のリスクを引き起こす。
- ・WHO は 2000 年、汚染されたシリンジを使った注射により 2100 万件の B 型肝炎感染（全新規感染の 32%）を引き起こしたと推定している。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分についての日本語版の翻訳権を WHO 事務局長より付与され、WHO 健康開発総合研究センター（WHO 神戸センター）の協力のもと作成したものです。日本語版に対する責任は全て日本 WHO 協会が負います。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Health-care waste management      ファクトシート原文は [こちら](#)